

授業科目	病理学総論	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	1 年次前期	1	講義	30 時間
到達目標	1. 病因の概念を知る。 2. 病変との関係を知り、疾病の成り立ちを理解する。 3. 奇形の成り立ちを理解する。 4. 組織の退行性変化、進行性変化による疾病の成り立ちを理解する。 5. 血液の循環異常による疾病の成り立ちを理解する。 6. 外部から生体に加えられた原因に対して反応する状態を理解する。 7. 腫瘍の性質、種類について理解する。 8. 生体の死への経過を理解する。					講師
						病理医
授業計画						
1 回	各臓器の形状と病変 病理解剖の動画					
2 回	看護と病理学 病気とは 病気の原因 (内因・外因)					
3 回	炎症の分類と治療 細胞・組織の損傷と適応					
4 回	細胞・組織の損傷に対する反応					
5 回	免疫と免疫不全					
6 回	アレルギーと自己免疫疾患					
7 回	アレルギーと自己免疫疾患					
8 回	移植と再生医療					
9 回	感染の成り立ちと感染症の発病					
10 回	主な感染症 感染症の治療・予防 循環障害					
11 回	出血 凝固 高血圧					
12 回	播種性血管内凝固症候群 ショック 代謝障害					
13 回	老化と死 先天異常					
14 回	遺伝 遺伝子疾患					
15 回	腫瘍の定義と分類 悪性腫瘍の広がりや影響 腫瘍発生の病理 腫瘍の診断と治療					
評価方法	修了試験 選択肢又は論述問題による筆記試験 (100%)					
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学①アレルギー-/膠原病/感染症 医学書院					
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。					